


監査報告書

平成29年 5月 15日

社会福祉法人則信会

理事長 伊藤 克之 様

監事 古尾谷 董 

監事 上野 久夫 

私たち監事は、平成28年4月1日から平成29年3月31日までの平成28年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じ説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告書等（事業報告及びその附属明細書）及び財産目録について検討いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

ア 事業報告等は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

イ 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以 上

平成 28 年度・社会福祉法人則信会・本部会計及び施設の各拠点会計（ケアハウス、

デイサービスセンター、ケアセンター）の経理状況並びに業務運営等全般について監査した結果、収支とも諸帳簿及び諸帳票類と照合の上、正確であることを認めた。

本年度は介護事業収入が減少し、事業経費が増加したこと等から、若干苦戦の傾向が見て取れた。しかし、借入金が堅調に減っていること、思い切って LED に変えたことによる光熱費減少の効果が表れたこと等、評価される面も多々あった。かかる効果的工夫を集積することによって、有益的修繕をはじめとする難課題に対応してゆくべきであると、期待するものである。